※紙面の都合上、１人２問以内で掲載しています。
※質問内容は、発言議員本人の提出によるものです。

発言項目

◎発言順に掲載。太字は下で紹介している質問を含みます。

●**豊島岩白**
(自民党・市民クラブ・西区)
・**G7サミットの広島市誘致**
・**脱炭素社会の構築**
・ポストコロナにおけるMICE戦略
・広島競輪場の再整備

●**石橋竜史**
(自民党・保守クラブ・安佐南区)
・**核兵器廃絶へ向けた本市の取組**
・**サッカースタジアムを通じたまちづくり**

●**碓氷芳雄**
(公明党・安佐南区)
・**平和の推進**
・子宮頸がん予防ワクチンの定期接種
・**協同労働の推進**
・中央図書館の移転
・農業の振興

●**伊藤昭善**
(市政改革ネットワーク・安佐北区)
・ご遺族手続支援コーナー
・**中央図書館の移転**
・**犯罪被害者等支援条例の制定**
・新安佐市民病院の開院

●**山内正晃**
(市民連合・安佐北区)
・**公共交通網の整備**
・市民社会とともに取り組む平和行政
・災害に強いまちづくり
・市職員がいきいきと働ける環境づくり

G7サミット広島市誘致

問 国際会議ならびに国際機関の拠点誘致を実現し、真の国際都市としての立ち位置を確立すべく、G7サミット[※1]の本市での開催を強く願うが、誘致に向けて今後どのように取り組んでいくのか。

答 令和3年12月中旬に国へサミット誘致希望の書類を提出した後、令和4年1月に、県、市、経済団体、平和・観光の関係団体で構成する「サミット広島誘致推進協議会」を設置する。そして、設置後は、官邸や外務省、関係国会議員等に対し、要望活動を行う。このように官民一体となって、G7サミットの広島開催が実現するよう、熱意を持って取り組んでいきたい。

脱炭素社会の構築

豊島岩白
自民党・市民クラブ

問 気候変動の影響がリスクとして顕在化しており、私たち市民の存続基盤を脅かす状況にあるという危機感を持ち、地球温暖化対策を進める必要があると考えるが、脱炭素社会の構築に向け、今後、どのように取り組むのか。

答 脱炭素社会の構築に向けて、本市も省エネルギー対策に取り組んでいるが、この取り組みを強化するとともに、再生可能エネルギーの導入を着実に進める。さらに、今後、気候非常事態宣言を発出する考えであり、この宣言を基に、実行計画の改定を進めていきたい。

核兵器の廃絶へ向けて

問 NPT[※2]再検討会議では、世界の人々が核軍拡競争の危険にさらされぬよう、この機会を核兵器禁止条約第1回締約国会議へ繋げるべく、「ヒロシマの心」ともども、NPTの内包する諸課題にも言及していただきたいがどうか。

答 中満国連事務次長も会見等の場で、令和4年1月開催予定の会議では、そうした課題を踏まえた上で、核軍縮の具体的な措置を盛り込んだ最終文書の採択を目指したいと明言されている。本市としては、今回の会議における発言の場を確保し、締約国が建設的な議論を行う中で、核軍縮・不拡散を進展させるための解決策を生み出すようしっかりと要請したい。

広島市と長崎市の連携強化へ

石橋竜史
自民党・保守クラブ

問 両市が同時進行で建設中の新サッカースタジアムに、両市で誓い合った「スポーツを通じての平和活動と都市間交流」を具現化すべく、シンボルを設置しては。
また、開業時にサンフレッチェ広島とV・ファーレン長崎とでピースマッチを行っては。

答 両市のスタジアムが同時期に完成することを一つの好機と捉え、スタジアム建設を通じた連携、交流を深めることは有意義であることから、議員ご提案の取り組みを参考とさせていただき、より効果の高い連携方策を検討する。

旧陸軍被服支廠の保存・活用

問 旧陸軍被服支廠は、被爆の実相を今に伝える「物言わぬ証言者」であり、全棟保存の可能性が高まっている。今後は、その価値を後世に伝え、生かしていくことが重要となるが、保存・活用についての本市の考えはどうか。

答 旧陸軍被服支廠は、原爆被害の凄惨さ、戦前の軍都としての歴史を伝える建物として重要な存在である。建物が持つ特性を踏まえつつ、被爆者を始め多くの関係者の意見を聞き、納得性が高められるよう、県・市が連携して丁寧に議論を進めることが重要であると考えている。その上で、検討結果を基にした活用がなされ、将来世代に引き継がれていくよう取り組みたい。

協同労働の推進を

碓氷芳雄
公明党

問 協同労働の推進は、今後、本市にとって、少子高齢化や労働、生活環境の変化等、さまざまな社会的要因の変化に対応するため、さらに重要な取り組みになると考えるが、どのように取り組もうと考えているのか。

答 令和4年10月、労働者協同組合法が施行されるという流れの中で、その追い風を生かして、協同労働を地域に広く根付かせるための取り組みを強化していきたい。そのために、まずは、協同労働が、さまざまな地域課題を解決するための有効な手段となり得ることの周知を図っていく。

図書館移転を見直せ

問 中央図書館は、元々、中央公園内で建て替える計画だったはずである。唐突に広島駅前に移転する話が出てきたが、これは基本方針に背くことになる。市民が理解納得できるよう、その経緯について教えてほしい。

答 令和2年3月に「中央公園の今後の活用に係る基本方針」を策定した後、中央公園内の公共施設の個別の状況を掘り下げて検討した結果、中央図書館については、現在地で建て替えるとなると当該図書館が有している機能を停止せざるを得なくなり、閲覧等の市民サービスを継続するためには、臨時図書館を用意する必要が生じることから、移転して再整備することとした。

被害者支援条例制定を急げ

伊藤昭善
市政改革ネットワーク

問 犯罪被害者等支援条例の制定に向けては性犯罪被害者の救済を含め、本市独自の見舞金等給付内容の充実を図るようにいま一度実態調査の情報を集めた上で刑事事件のみならず民事事件も含め再検討してほしいがどうか。

答 本市の見舞金給付制度は、警察による被害届の受理など警察が犯罪被害を認定した場合を申請の要件としている。これは、見舞金の支給に当たり、犯罪被害の事実を客観的に確認する必要があるためであり、この要件を見直すことは考えていない。

JR芸備線の活性化支援策

問 10月に白木町井原や志和口駅などで開催されたおもてなしイベントのような取り組みを持続・発展させるためには、同様の志を持つ地域同士が連携し、芸備線を利用して行き来するような仕掛けへと発展させていくのがよいと思うがどうか。

答 当イベントは、利用促進と地域活性化に向けた担い手を育む視点の下、令和2年度より実施している。今後は、そこに生まれた「人の流れ」を他の沿線イベントや観光資源などにつなぐことで、相乗的ににぎわいを創出する仕掛けに取り組む。また、沿線自治体との連携を図り、地域同士が互いに行き来し、循環するような取り組みへと拡大していきたい。

安芸矢口駅前の道路整備

山内正晃
市民連合

問 安芸矢口駅付近から、はすが丘団地南口交差点までの矢口安古市線2工区の拡幅と駅前ロータリー整備は地元の願いであるが、どのように取り組もうとしているのか。

答 矢口安古市線2工区については、できるだけ早期に実施設計に着手したい。また、安芸矢口駅前ロータリーについては、引き続き、整備に必要な用地の一部を所有するJR西日本などと協議を行うとともに、地元の声を聞きながら検討を深めたい。

JR安芸矢口駅前

指定管理は非公募継続で

問 図書館にとって、司書など専門的な仕事を未来に継承していくためにも、民間委託化はなじまない。中央図書館の指定管理者は、非公募を継続するべきと考えるがどうか。

答 中央図書館は、本市の図書館全般を管理する役割を担っており、また、本市独自の資料の収集、整理等を行っていることから、これまで非公募で、専門的知識や豊富な経験を持つ職員を多く有する(公財)広島市文化財団を指定管理者としている。移転後も、幅広い世代の利活用を促すための工夫が行えるようにすることを前提としつつ、引き続き非公募として取り扱うことが適当と考える。

中学校給食は自校調理給食に

藤井敏子
日本共産党

問 教育の一環としての給食の実現のためには、自校調理給食の優位性は明らか。自校調理をなくしていく方針を決める前に、改めて自校調理給食かセンター給食か、子どもや保護者へのアンケートを実施すべきだがどうか。

答 児童生徒や保護者等のニーズを勘案するため、平成30年度にアンケートを実施したが、給食の提供手法については、経費面や衛生管理面など総合的な観点から設置者において責任を持って判断すべきものと考えており、今後改めてアンケートを行う予定はない。